

区分	職場環境等要件（実施事項を赤文字で表記） なお介護特有⑰／障害特有⑱がある点に注意すること	共通項目（経営改善委員会）	人材育成重点パッケージ	働き方改革重点パッケージ
入職促進 に向けた取組	①法人や事業所の 経営理念 やケア方針・ 人材育成方針 、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	✓経営改善委員会で策定		
	②事業者の共同による採用・人事ローテーション・ 研修のための制度構築	✓eラーニングを一元管理		
	③他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（ 採用の実績 でも可）	✓（自ずと採用実績が生じる）		
	④職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施			
	小計	3	0	0
資質の向上や キャリアアップ に向けた支援	⑤働きながら国家資格を目指す者に対する研修 受講支援 や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する研修の受講支援等		✓報奨金の支給	
	⑥ 研修の受講 やキャリア段位制度と 人事考課との連動		✓eラーニングを正規職員転換制度と連動	
	⑦ エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者） 制度等導入			✓相談担当職員の個別配置
	⑧上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・ 働き方等に関する定期的な相談 の機会の確保			✓管理的地位にある職員との定期面談
	小計	0	2	2
両立支援・ 多様な働き方の 推進	⑨子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための 休業制度等 の充実、事業所内託児施設の整備			✓育児介護理由の勤怠不備の免責制度
	⑩職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや 短時間正規職員制度 の導入、職員の希望に即した非正規職員から 正規職員への転換 の制度等の整備		✓正規職員転換制度	✓短時間正規職員転換制度
	⑪有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標（例えば、1週間以上の休暇を年に1回取得、付与日数のうち90%以上を取得）を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている			
	⑫有給休暇の取得促進のため、 情報共有 や複数担当制等により、 業務の属人化の解消 、業務配分の偏りの解消を行っている	✓（ICTツールの導入と運用管理）		
	小計	1	1	2
腰痛を含む 心身の健康管理	介⑬／障⑭業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員 相談窓口の設置 等相談体制の充実	✓ハラスメント相談窓口		
	介⑭／障⑮短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ ストレスチェック や、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	✓ストレスチェック		
	介⑮／障⑯介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施			
	介⑰／障⑰ 事故・トラブルへの対応マニュアル 等の作成等の体制の整備	✓文書・規程管理		
	小計	3	0	0
生産性向上 のための 業務改善の取組	介⑰厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、 業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等） を行っている	✓経営改善委員会の活動		
	⑱ 現場の課題の見える化 （課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	✓課題の把握		
	⑲5S活動（業務管理の手法の1つ。 整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの ）等の実践による 職場環境の整備 を行っている	✓情報整理・保存最適化		
	⑳業務手順書の作成や、 記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減 を行っている	✓（ICTツールの導入と運用管理）		
	㉑ 介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等） の導入	✓ICTツールの導入と運用管理		
	㉒介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入			
	㉓業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。			
	㉔各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施			
小計	介5／障4	0	0	
やりがい・ 働きがいの醸成	㉕ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた 勤務環境やケア内容の改善			✓定期面談による意見の吸い上げ
	㉖地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施			
	㉗利用者本位のケア方針など 介護保険 や法人の理念等を 定期的に学ぶ機会の提供	✓eラーニング		
	㉘ ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供		✓経営改善委員会で収集し全社共有	
	小計	1	1	1
合計		介13／障12	4	5
共通項目を加えた全体合計		介17／障16	介18／障害17	

